

「みんなか」を任意団体として 設立しました！

「わたしたちのふるさと中標津は、豊かな自然と四季の変化に恵まれ、大規模な酪農経営と活発な都市活動が展開される緑豊かなまちである。

知床連山の山並みを背に、牧草地と防風林帯が織りなす緑の大格子が一面に広がり、遙かかなたには、丸い地球を実感できる緑の地平線を望むことができる。」

(平成8年7月1日施行中標津町景観条例の前文より)

●設立総会の様子



●任意団体「みんなか」設立の経緯

中標津の農業景観に価値を見出した取り組みは、昭和38年の開陽台の設置に端を発します。先達たちの取り組みから、私たちは「景観」という言葉が、単に絵はがきの写真のように美しいことを指すだけではないこと、目に見える景観を支える様々な仕組みや営みを理解するようになり、色々な立場の人との交流が生まれました。

これらの理念を継承しつつ、平成29年には、町民・活動団体・事業者・行政との協働の体制を見直し、まちづくり活動を経て景観を「守り、つくり、育てる」ことを具体的なイメージを育てて計画に盛り込んだ「中標津景観計画」策定しました。

私たちはこの景観計画が施行されてから今日までの足掛け3年間にわたって、景観法に明記されている良好な景観の保全・形成に関して様々な活動を行うことができる「景観整備機構」という地域の景観形成の担い手となる団体を想定とした「みんなのなかしべつプロジェクト」活動を続けてきました。

様々な課題に部会として取り組み、相互を結びつけ、参加者の思いが循環し、町民の皆さんと共有できる、そのような景観を活用したまちづくりを推進したいと考えました。そこで「みんなの景観なかしべつプロジェクト」を任意団体として設立することとし、令和元年9月3日、設立総会を開催しました。

●現在進行する5つの部会

景観調査
部会

「昭和初期の
開拓景観」
保存活用部会

なかしべつの
色部会

景観学習
部会

かぼちゃ
ランタン部会

部会の紹介は裏面を
ご覧ください！



●現在進行している部会の紹介

みんななかでは、部会ごとの活動を行っています。現在、設置されている部会は以下の5つです。興味のある部会がありましたら、ぜひ一緒に活動しましょう！

●景観調査部会

関係団体と連携しながら、写真撮影などを用いて、中標津町の地形や開拓期の痕跡などから景観的特徴の調査を行います。

●「昭和初期の開拓景観」保存活用部会

桜ヶ丘周辺の開拓景観について、意見交換を行ったり、団体や行政機関と協力して保存活用を進めます。

●なかしべつの色部会

関連団体や専門家などと協力しながら、まち歩きや勉強会などを通して、中標津町の景観にふさわしい色を検討していきます。

●かぼちゃランタン部会

現在は主に計根別地区を中心として農業高校をはじめとする学校や地域住民でカボチャを育て、ハロウィンのランタンで地域の飾りつけを行います。

●景観学習部会

教育委員会と連携し、町内の小学生を対象として中標津町の地形や歴史、生態系などから、景観を学ぶ授業を実施しています。



各部会の活動はみんなかFacebookで公開しています！



みんなかFacebookページ

みんなの景観なかしべつプロジェクト 入会のご案内

中標津町の市街地や農地を含めた町全域を対象とした中標津町景観計画の策定を機に「町民一人ひとりが景観まちづくりの主役であること」に理解を進めるため、「町民・地域や学校・活動団体・行政との協働や連携した活動」を続けてきた私たちが「みんなの景観なかしべつプロジェクト」として任意団体を立ち上げ、協働の景観まちづくりを進めることになりました。

当会の活動にご賛同いただける方いらっしゃいましたら、お住いの地域は問いませんので、是非当会に会員として入会いただき、お力添え賜りたくご案内申し上げます。

記

名称：みんなの景観なかしべつプロジェクト

目的：中標津町の育まれた景観を理解した上で、守り・つくり・育てることを通して、景観まちづくりに寄与することを目的とする。

活動：1.計根別地区のかぼちゃランタン活動
2.町内小学校での景観学習活動
3.景観調査活動（今年度は沿道景観調査）
4.なかしべつの色を検討する活動
5.昭和初期の開拓景観を保存活用する活動

年会費：①正会員3,000円②協力個人会員 一口1,000円（一口以上）
③協力団体会員 一口5,000円（一口以上）

お問い合わせ：当会への加入、会則等関係資料請求など気軽にお問合せください
みんなの景観なかしべつプロジェクト

〒086-1153 北海道標津郡中標津町桜ヶ丘1丁目1-5伝成館内

メールアドレス：minnaka.nakashibetsu@gmail.com